

科目名	担当教員	学期	単位
現代政治理論演習A	谷澤 正嗣	前期	2

#### 講義概要

この演習では、現代政治理論における合理性の概念に焦点を合わせて、重要なテキストの講読と討論を行う。方法論的には「概念分析」と呼ばれる手法を重視する。すなわち特定のconceptが、異なった著者により、異なった文脈の中で、異なった問題に即して、どのように異なった仕方で解釈され展開されているか、つまり異なったconceptionを与えられているかを検討する手法である。前期はジョン・ロールズの理論におけるrationalとreasonableの区別に注目する。A Theory of Justice(1971)およびPolitical Liberalism(1993)からこの区別にかかわる箇所を詳しく検討することを第一の課題とするが、必要に応じてその他の文献も参照することになるだろう。

#### シラバス

参加者全員に十分な予習と講義への参加を要求する。第1回のassignmentは講義開始時までには研究科掲示板等で指示するので注意せよ。それ以降の各回については第1回におおよその予定を示すが、学期中に適宜変更される可能性もある。さらに、この演習のテーマに即した研究報告の希望が（とくに、博士課程の学生から）あれば、なるべく歓迎したい。

- [第1回] イントロダクション
- [第2回] 文献講読
- [第3回] 文献講読
- [第4回] 文献講読
- [第5回] 文献講読
- [第6回] 文献講読
- [第7回] 文献講読
- [第8回] 文献講読
- [第9回] 文献講読
- [第10回] 文献講読
- [第11回] 文献講読
- [第12回] 文献講読
- [第13回] 文献講読
- [第14回] 文献講読
- [第15回] 文献講読

#### 教科書

John Rawls, A Theory of Justice, Original Edition (Harvard University Press, 1971)

John Rawls, Political Liberalism, Expanded Edition (Columbia University Press, 2005)

その他のテキストを用いる場合は、講義中に指示する。

#### 参考文献

以下の二点は講義開始時点で読了済みであるか、速やかに読了することを求める。その他の参考文献は講義中に随時指示する。  
 ジョン・ロールズ『公正としての正義 再説』（岩波書店、2004年）  
 ジョン・ロールズ『万民の法』（岩波書店、2006年）

#### 評価方法

講義への参加と期末レポートを総合して評価を行う。期末レポートの詳細については受講生と相談のうえで学期中に決定する。

#### 関連URL

#### 備考